

## 地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	伊予市地域
②都道府県名	愛媛県
③計画作成主体	伊予市
④計画期間	平成30年度～令和4年度
⑤計画の目標	『住み心地のよい、安心してらせる、住宅・住環境の創造』 『空家等対策事業を推進することにより、地域住民の生活環境の確保を図る』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	伊予市において評価の上で確定（令和5年12月）
⑦事後評価の結果	<p>指標1：「市営住宅の外壁改修事業」            定義：市営住宅における外壁改修を行った住宅棟数の割合            評価方法：市営団地の外壁改修工事の実施            結果：従前値：6.3%（H29年度）⇒目標値：7.0%（R4年度）⇒<u>実績値：6.3%</u>            結果の分析：計画期間中に長寿命化計画の改定を行い、次期計画期間に市営住宅の大規模な集約建替えを位置付けた。その結果、財政的な状況を踏まえ、やむを得ず改善事業に係る投資的経費を抑制したことから、目標値を下回ることとなった。</p> <p>指標2：「改善する空家戸数」            定義：市域内において、生活環境に影響を及ぼしている空家等の改善戸数            評価方法：老朽危険空き家等の除却を行った戸数            結果：従前値：0戸（H29年度）⇒目標値：58戸（R4年度）⇒<u>実績値：54戸</u>            結果の分析：居住環境の整備改善に資するため、地域内の老朽危険空き家等の所有者（管理者）に適正管理（除却を含む）を指導する等して、内54戸については除却を行った。</p>
⑧結果の公表方法	伊予市のインターネットにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年3月に見直しを行った長寿命化計画に基づき市営住宅の改修事業並びに建替事業を推進し、次期計画において指標の目標値の達成を図っていく。</li> <li>・南海トラフ地震に備え、空き家の改善については、次期計画においても指標の目標値を100戸と設定して、適正管理について利活用も含め啓発や普及活動を行い、安全・安心に暮らせる生活環境の確保を図っていく。</li> </ul>
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の地域住宅計画（確定版）について行ったものである。